

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第14回月例研究会

日時：2011年12月7日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環A棟1階）

内容：パルミラ遺跡の調査22年の軌跡

—特に墓の調査を中心に—

西藤 清秀（奈良女子大学古代学学術研究センター・
特任教授／奈良県立橿原考古学研究所）

1990年パルミラ遺跡の東南墓地において発掘調査を開始して以来、22年が過ぎ、その調査成果はパルミラの葬制研究に貢献ができるようになった。さらに調査した4基の地下墓のうち2基（F・H号墓）の修復・復元を実施し、観光客への公開という道も開くことができた。

今回の発表では22年間の調査成果と修復・復元事業を紹介する。

ご自由にご参加ください